



時田アリソン所長 京都市立芸術大学退任記念

日本伝統音楽研究センター 第51回公開講座(平成29年度 第4回)

日本・イタリア 二つの語り物

Singers of Tales in Italy and Japan

平成30年

日・祝

2.11

午後1時30分開演(午後1時00分開場)

受講料 1,000円 定員 200名 全席自由・要申込

申込受付期間 | 平成30年 1月11日(木)～2月7日(水)
(必着)

方法詳細は裏面に記載 ※ 定員に余裕がある場合は当日申込も受付けます。

時田アリソン所長の長年の研究テーマである「語り物」^{*}は、平家物語、浄瑠璃、民俗芸能のゴゼ歌、そして明治時代に誕生した浪花節に代表されるものです。本講座はその芸能の社会的意義と価値を検討し、日伊両国の事例等を踏まえた国際的視野に立った講演の他、常磐津節と浪花節の演奏も行い、日本独自の語り物の特徴の理解を深める試みです。

^{*}「語り物」…色々なフシに乗せながら、ストーリーを音楽的に語る芸能のこと。

京都市男女共同参画センター ウィングス京都イベントホール

〒604-8147 京都市中京区東洞院通六角下る 御射山町262

- ◆ 地下鉄烏丸御池駅(5番出口)または地下鉄四条駅・阪急烏丸駅(20番出口)下車徒歩約5分
- ◆ 駐車場はからだの不自由な方の来館時や荷物の搬入用に限りさせていただきます。本施設へお越しの際は、電車・バスなど公共交通機関をご利用ください。

講演 | Public lectures

フランシス・ビッジ Francis Biggi
(ジュネーブ高等音楽院教授)

『“クロリンダの刀”—イタリアの軍記語りとその語り手, 今昔』

"Clorinda's sword": Singers of Tales in Italy, past and present.

逐次通訳(英日): 青嶋 絢 (大阪大学大学院文学研究科博士課程)
E-J interpretation by Aya Aoshima (Doctoral student, Graduate School of Letters, Osaka University)

時田 アリソン Alison Tokita

(京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター所長)

『日本の語り物と世界の語り物』

Japanese sung narrative in a global context

実演 | Performances

常磐津節『将門』

Tokiwazu-bushi "Masakado"

浄瑠璃: 常磐津 小文字太夫、常磐津 若音太夫

三味線: 常磐津 都崑蔵、常磐津 都史

浪花節『お民の度胸』

Naniwa-bushi "O-Tami no dokyô"

浪曲師: 玉川 奈々福 曲師: 沢村 さくら



出演者紹介 Performer



Foto Sergio Fortini

フランシス・ビッジ Francis Biggi

ミラノ大学、シエナ大学で中世史の博士課程修了後バーゼルのスコラカントルムで中世音楽の博士課程を修了。中世・ルネサンス音楽の解釈と演奏法研究の第一人者。

国内外の様々な研究者や音楽家とのコラボレーションをする結果、数多くのCDを発表。古楽やイタリア民族音楽を扱ったドキュメンタリープログラム等にも出演、またその関係の論文も数々執筆している。現在ジュネーブ高等音楽院古楽部の学部長。中世・ルネサンス音楽の演奏法を指導する。



時田アリソン Alison Tokita

豪州・メルボルン生まれ。メルボルン大学を卒業後、パリ大学、東京藝術大学に留学し、1989年にモナシュ大学(日本研究学科)博士号。同大学日本研究センター所長、東京工業大学外国語研究教育センター

教授などを経て、2014年京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター所長に就任。

著書Japanese Singers of Tales: Ten Centuries of Performed Narrative (『日本の「物語の歌い手たち」上演される語り物の千年の流れ』2015年)により第33回田邊尚雄賞受賞、平成28年度京都新聞大賞(文化学術賞)、第28回小泉文夫音楽賞受賞。

常磐津 小文字太夫〈浄瑠璃〉 Tokiwazu Komojidayû

1988年に父の9世常磐津文字太夫(常磐津家元)に入門。6世小文太夫を襲名後、2013年より現名(12世)。歌舞伎公演、演奏会のほか、海外での啓蒙活動にも意欲的に取り組む。2016年清栄会奨励賞(伝承者部門)。慶應義塾横浜初等部非常勤講師。

常磐津 都岳蔵〈三味線〉 Tokiwazu Tokizô

1946年に父の常磐津文之助に入門、翌年初舞台。1955年に都岳太夫を許名、三味線方になり1961年より現名。稀曲を継承する常磐津都岳蔵研究会を25回主催し、文化庁芸術祭優秀賞。重要無形文化財保持者(総合認定)。(一社)関西常磐津協会理事長。

玉川 奈々福〈浪曲師〉 Tamagawa Nanafuku

神奈川県横浜市出身。浪曲師・曲師。上智大学文学部国文学科卒業。(一社)日本浪曲協会理事。1995年、二代目玉川福太郎に曲師として入門。2001年より主に浪曲師として活動。様々な浪曲イベントを手掛けるプロデューサーでもある。

常磐津 若音太夫〈浄瑠璃〉 Tokiwazu Wanedayû

1991年より常磐津清若太夫に師事、1995年許名。1999年より歌舞伎出演。2009年清栄会奨励賞(研究者部門)。京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター准教授として、授業やクラブ活動等で常磐津節の魅力を発信中。

常磐津 都史〈三味線〉 Tokiwazu Toshi

3歳より父の常磐津都岳蔵の手ほどきを受け、1990年許名。2009年よりリサイタルを主催。2010年京都市芸術新人賞。父と共に多くの門弟を育て、京都造形芸術大学でも啓蒙普及にあたる。

沢村 さくら〈曲師〉 Sawamura Sakura

山形県出身。2000年、曲師沢村豊子に入門。東京で活動するが、2005年大阪に住まいを移し、以後主に関西で活動している。関東節と関西節の両方をこなし、テレビ、ラジオ、各劇場で出演多数。

申込受付期間

平成30年 **1月11日(木)～2月7日(水)**〈必着〉定員に余裕がある場合は、当日申込も受け付けます。

申込方法

はがき・FAX・Eメールのいずれかの方法により、①郵便番号 ②住所 ③氏名 ④電話番号(FAX番号) ⑤「第51回公開講座参加希望」を明記の上、お申込みください。

※受講料1,000円は、当日受付にて頂戴いたします。
※定員に余裕がある場合は、当日申込も受け付けます。

申込・ 問合せ先

〒610-1197

京都市西京区大枝沓掛町13-6

京都市立芸術大学
事務局連携推進課(事業推進担当)

Fax 075-334-2281

Eメール public@kcua.ac.jp